



## コロナ対策とりながら募集イベントを再開



自衛隊東京地方協力本部新小岩募集案内所（所長 高倉2陸尉）は7月3日及び12日、担当地域である葛飾区内の商業施設等において、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言解除後初となる募集広報イベントを実施した。

イベントの実施に当たっては、葛飾区の感染拡大防止ガイドラインを順守するとともに施設管理者と事前に綿密な打ち合わせを行い、手指消毒液の設置や隊員はマスク、フェイスシールドを装着する等感染防止対策を実施しての開催となった。

JR亀有駅南口に隣接する「リリオ亀有」では、駅前広場に配列した野戦型救急車及び偵察用バイクや自衛隊の活動を紹介する写真パネルの周辺にテープで統制線を標示し、密集状態にならずに装備品等を見学できる環境を作った。また、同じくJR亀有駅の南東に位置する「アリオ亀有」では、施設内の広場に広報ブースを展開するとともに、海上自衛官の隊員が来場者と一緒に手旗信号を体験しながら「ソーシャルディスタンス」を意識することができるよう展示内容にも工夫した。会場には、東京都隊友会や東京都防衛協会、葛飾区自衛隊家族会等も応援に駆けつけ、今年度初の広報イベントは大勢の来場者で賑わった。

来場者からは「イベントを通じてコロナウイルス対処での自衛隊の活動が知れてよかった」「手旗信号を教えてもらいながら自衛官を身近に感じる事ができた」との声が聞かれた。

新小岩募集案内所は、担当地域内に自衛隊施設が存在しない地域であるからこそ、今後も関係部隊と連携し、地域に密着した募集広報活動を実施して自衛隊に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げていきたいとしている。

## 任期制隊員の人生設計をサポート ～東京地本がライフプラン教育～



自衛隊東京地方協力本部（本部長 岸良陸将補・当時）は7月9日、朝霞駐屯地において任期制隊員ライフプラン集合教育を実施した。

この教育は入隊後1年以上を経過した任期満了予定隊員（基準）を対象として、自己分析に基づいて自ら人生設計を確立させ、職業選択・資格習得等の能力開発に関し、自助努力を促進することを目的としている。今年度は12回計画しており、今回は27名の隊員が参加した。

教育では、当初、東京地本援護課及び駐屯地援護室の担当者が、「任期制隊員の進路」及び「ライフプランの意義」として自衛隊の人事制度について説明するとともに、「都県の雇用情勢」及び「企業の現状」について解説して、現在の雇用情勢・企業の実態を理解させた。また、自衛隊における就職援護施策である「部内・部外技能訓練の概要」及び「自衛隊の援護組織」を紹介するとともに、「予備自衛官等制度」について改めて教育した。事後、部外講師の指導による「個別ライフプランの作成」を実施して教育を終了した。

東京地本では、今後もライフプラン集合教育を通じ、任期制隊員に任期満了後のライフプランの重要性や自衛隊の組織援助の有用性について理解を促進させ、任期制隊員としての人生設計の方向付けの機会として更に訓練内容の充実を図り、援護組織の活用を促進したいとしている。